

・LCCO₂(ライフサイクルCO₂)

建築物の建設から解体までのCO₂排出量を算出すること。

資材生産段階

・カーボンフットプリント

製品の原材料調達から廃棄・リサイクルまでに排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算して、表示する仕組み。

・環境影響評価

環境負荷が環境に与える影響を定量的に評価すること。

・環境負荷

環境に与える負荷のこと。

・合板

丸太を桂剥きして薄い単板を製造し、奇数枚の単板を接着剤で貼ることで製造される。

・木材流通構造

林地から工務店までの木材の流れのこと。

建設段階

・建設副産物

住宅建設時に発生するごみのこと。

・ゼロエミッション

熱回収を行わない焼却処分や埋め立て処分をする副産物をなくすこと。

使用段階

・一次エネルギー

人間が利用するエネルギーのうち加工されていないもので、例として石油、石炭、風力、水力、太陽光が挙げられる。

・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(PEFC-CGS)

ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と反応させ発電を行う。そのとき発生する熱を利用しお湯を作る給湯システム。

・空気集熱器

空気集熱器に取り込んだ外気を、集熱した太陽熱によって昇温させるシステムである。空気集熱器により暖められた外気は、室内への放熱による暖房効果や給湯などに用いられる。

・自然換気

機械による換気ではなく住宅の構造により換気を行うこと。

・自然冷媒ヒートポンプ給湯器

CO₂を冷媒として外気から熱を取り込み、圧縮することで熱が上昇する。その熱によりお湯を作る給湯器。

・潜熱回収型ガス給湯器

ガスを燃焼させた熱を取り込み、お湯を作る給湯器。従来型の給湯器では一度しか取り込まないのに対し、潜熱回収型ガス給湯器は2回取り込むことで少ないガス消費でお湯を作ることが可能となっている。

・潜熱蓄熱材(PCM)

固体から液体に、液体から固体に相変化するときに潜熱を利用して周囲と熱の授受を行う熱媒体のこと。

・全電化住宅(オール電化)

給湯、暖房等をすべて電気で行う住宅。電気料金の安い深夜電力を利用する住宅が多い。

・太陽光発電

屋根に太陽光パネルを設置し日中に発電し、住宅内で使用する。余った電気は電力会社に売却する。

・二次エネルギー

人間が利用するエネルギーのうち加工されたもので、例として電力、燃料用ガス、ガソリンが挙げられる。

・パッシブクーリング

自然換気により外気を取り入れ空調を行う。電力を使わないためエアコン等の消費を抑えられる。

用語は順次追加予定。